

【1 分解説】ウェルビーイングとは？

総合調査部 マクロ環境調査グループ 主席研究員 村上 隆晃

ウェルビーイング (Well-being) とは、人とのつながりや健康、お金など生活の様々な分野が「満ち足りて幸せな状態」を意味します。生活のどの分野が満ち足りているとウェルビーイングを感じるかは、人により様々です。ただ、国や地方自治体の住民、企業の顧客など多くの人が集まると、どの分野がどの程度満ち足りていると、どの程度ウェルビーイングが実感されるのかといった構造が見えてくるため、政策や企業経営へ役立てる道が見えてきます。

2021 年は日本の「ウェルビーイング元年」と呼ばれています。これは政府のいわゆる骨太の方針に「政府の各種の基本計画等について Well-being に関する KPI (重要業績評価指標) を設定する」ことが記載され、既に多くの基本計画で KPI が設定されるなど国としての具体的な動きが出てきたことが背景にあります。地方自治体や企業などにも住民や顧客、従業員のウェルビーイングを追求する動きが出てきており、こうした動きは 2022 年以降も続いています。

GDP で測る物質的な豊かさは大切な指標ですが、国民が心理的に実感できるウェルビーイングを捉えきれていない部分があります。国民が感じるウェルビーイングをどのような指標で測定するのが有効であるかは、官民で今まさに議論が進んでいるところですが、内閣府が「満足度・生活の質を表す指標群 (ウェルビーイング・ダッシュボード)」を 2019 年 7 月から公表しており、基盤となる指標は整いつつあります。こうした国民のウェルビーイングに関する指標をさらに効果的なものになるよう改善しながら、GDP とともに政策の立案・効果検証に役立てることは、これからの時代に必要なことと考えられます。

関連レポート

- ・「[デジタル田園都市国家構想はウェルビーイングを目指す ～ウェルビーイングと DX\(1\)～](https://www.dlri.co.jp/report/ld/216868.html)」(2022 年 12 月)<https://www.dlri.co.jp/report/ld/216868.html>
- ・「[世界も注目を始めた東アジアの幸福観 ～「世界幸福度報告」2022 年版より～](https://www.dlri.co.jp/report/ld/187830.html)」(2022 年 5 月)<https://www.dlri.co.jp/report/ld/187830.html>
- ・「[ここが知りたい『国民全体の幸せの指標、GDW\(Gross Domestic Well-being\)に注目』](https://www.dlri.co.jp/report/dlri/179355.html)」(2022 年 2 月)<https://www.dlri.co.jp/report/dlri/179355.html>
- ・「[人生への向き合い方と well-being① ～人生に対する向き合い方で日本人は 4 つのタイプに分けられる～](https://www.dlri.co.jp/report/ld/178751.html)」(2022 年 1 月)<https://www.dlri.co.jp/report/ld/178751.html>
- ・「[国民の幸せな人生 \(well-being\) を政策目標に ～生涯幸福量 \(WELLBY\) という新たな考え方～](https://www.dlri.co.jp/report/ld/176045.html)」(2021 年 12 月)<https://www.dlri.co.jp/report/ld/176045.html>
- ・「[Well-being とライフデザインの幸せな関係 ～コロナ禍での幸福度上昇を持続させるためのヒントを探る～](https://www.dlri.co.jp/report/ld/158131.html)」(2021 年 7 月)<https://www.dlri.co.jp/report/ld/158131.html>